

## 第2回 新会設立準備委員会 報告

開催日時 : 平成18年5月8日(月) 13:00-17:00  
場 所 : 六行会ラウンジ(東京都品川区北品川2-32-3 六行会総合ビル8F)  
出席者 : ディスカバリーパーク焼津 青木 良夫(AJPA)  
ディスカバリーパーク焼津 宗政 剛(AJPA) 進行・記録  
さいたま市宇宙劇場 糸賀富美男(AJPA)  
名古屋市科学館 北原 政子(JPS)  
名古屋市科学館 毛利 勝廣(JPS)  
白井市文化センター・プラネタリウム 長谷川好世(JPS)  
NPO法人エム・ワイ・ピー 加藤 治(NPF)  
厚木市子ども科学館 菅原 賢(NPF)

(オブザーバー)

若宮 崇令(名古屋大会実行委員長)

(順不同・敬称略)

### 1 新会規約について

- (1) 設立時(6月1日)の規約は、三会WGが答申したものに微修正を加えたものとする。
- (2) 設立に必要な暫定的なものにとらえ、名古屋大会の総会等で会員の意見を取り入れながら、平成19年度スタート時には確定的なものとする。
- (3) 名称は「(仮称)新プラネタリウム会」でスタート。英名も含め正式な名称を名古屋大会までに決定。
- (4) 理事・理事長の選出について
  - ・ 理事については総会で選任、理事長・副理事長は理事の互選。
  - ・ ただし、互選という方法が不適切な状況においては総会の議題し、実質選挙と同等な過程を踏む。従って、規約には選挙に関する規定は設けない。
- (5) 事務局について
  - ・ 細則において定めるものとする。
  - ・ 将来は委託も考える。
  - ・ 持ち回りにするか、パーマネントとするか、今後の検討事項。
- (6) 会務に関わる旅費支給の規定については規約には盛り込まず、各年度の予算で決める。

### 2 初年度の体制について

- (1) 事業年度は6月1日~5月31日。よって初年度は、平成18年6月1日~19年5月31日)
- (2) 理事 : 現3会会長が就任。
- (3) 監事 : 理事・会計管理者以外から選出の必要あり。 → 若宮氏にお願いする。
- (4) 事務局 : 暫定的にディスカバリーパーク焼津が担当。
- (5) 平成19年度からの人事は、12月の名古屋大会での総会以降に検討。
- (6) 現3会から10万円ずつ持ちより、初年度の運営費とする。初年度は会費を徴収しない。

### 3 入会受付等

- (1) 暫定的な新会Webを立ち上げ、PR・受付を行う。
  - ・ 多少の費用はかけても広告の入らないレンタルサーバーを使用。
- (2) 並行して、現3会においても会員へ新会への入会案内・申込用紙を送付。

- 入会申請書送付先は、新会事務局へ1本化。
  - 申込みしやすいよう FAX・e-mail・郵便いずれでも可とする。
- (3) 現在3会のいずれにも参加していない館には、名古屋大会の案内と一緒に送付。
- (4) 3会のいずれかの会員は、名古屋大会は会員料金。非会員及び新会のみ加入者は割高に設定。

#### 4 新会の行う研修について

- (1) 初年度は、予算も少ないので無理のない範囲で行う。現行3会の研修会との共催等。
- (2) 日常的に研修を受けられるシステムを構築したい。具体案要検討。
- (3) どんな研修が望まれているか、会員の意見を収集する。
- (4) 年2回の全国大会を想定。内容をうまく振り分ける。
- 例： 春の大会 : 総会・講演会・研究発表
  - 秋の大会 : 分科会・ワークショップ・初任（中堅）者研修
- (5) 全国大会と地域での研修会とのすみわけ
- 全国からプラネタリアム関係者が集まってこそ行える内容とは？
  - 地域で行うならではの内容とは？
  - 小規模（ドーム径の小さな）館でも全国大会を開催できる方法を模索する必要あり。
- (6) 様々な目的の研修を展開
- 経験年数別（初心者、中級者、上級者）
  - 分野別（ハードウエア、ソフトウエア、天文学）
  - 今すぐ役に立つ内容の研修
  - 将来を見据えた研修（技術革新、制度改革等）
  - プラネタリアムの技術に直接関係の無い研修も大切（接遇、マネジメント等）
  - 遠出の難しい担当者のため、同じ研修を各地で実施してもよい。  
(テキスト・ビデオ作成・講師養成・研修のパッケージ化)
- (7) 研修の講師
- 講師的役割を果たした人、会場館に「やってよかった」と感じてもらえるサポートが必要。
  - 交通費、宿泊費等は会から全額負担する。謝礼も検討。

#### 5 平成19年度の全国大会について

- (1) 2回実施。
- (2) 各自治体での予算申請があるため会場館の決定を早めに。6月末までには決めたい。
- (3) 小規模（ドーム径の小さな）館でも実施可能な方法を模索。

#### 6 外部への働きかけについて

- (1) 業界団体をひとつにまとめる目的のひとつ
- (2) 学習指導要領に関する提言
- (3) プラネタリアム、プラネタリアム職員の社会的認知度・地位の向上
- (4) 様々な団体との連携も重要（天文学会、日本博物館協会、科学技術振興機構 等）

以上。